



令和6年3月15日

茅ヶ崎中学校だより3月号

横浜市立茅ヶ崎中学校 校長 高山 俊哉

TEL. 941-0601 / FAX. 942-9216

学校HP: <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/chigasaki/>

★学校教育目標★ 「夢」「愛」「平和」

夢に向かって、自ら学び創造性を養い、明るい未来を切り開く力を身に付けます

愛を育み、互いを尊重し認め合い、人と人とのつながりを大切にする心を育てます

平和を希求し、健やかな心と体で自分の可能性を信じ、豊かな社会の実現を目指します

令和5年度 第43回 卒業証書授与式

3月12日(火)、朝から雨模様になりましたが、早咲きの桜に見守られ、302名の卒業生が立派に巣立ちました。巻頭に、当日話された「学校長はなむけの言葉」を掲載します。

「はなむけの言葉」

校長 高山 俊哉

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。

皆さんは今日のこの卒業式をどのような気持ちで迎えましたか。昨年、一昨年はさまざま制限のある中での卒業式でした。しかし、今年は4年ぶりに、以前と同じく、保護者の皆様、そして地域の皆様はじめご来賓をお迎えして、皆さんの晴れの姿を見ていただける式が行えることを本当にうれしく思っています。ご来賓の皆様・保護者の皆様、本日はご列席をいただき誠にありがとうございます。

よく、感染症の制限も緩和されさまざまなことができるようになって良かった。という声を耳にします。しかし、これは本当に最近のことで、皆さんが今日を迎えるまでの中学校の3年間、あるいは小学校の最高学年としてリーダーシップを発揮する年であった6年生を含めた4年間の道のりは決して平坦ではなかったはずです。先日この体育館でお別れ会が催されていて、その時に3年間のスライドが上映されていました。入学式からの多くの場面が映し出されていましたが、最初の方は全員マスク姿で遠目には誰だかよくわからない写真が並んでいました。少し記憶から遠のいてしまいましたが、ああそんな時代だったなあと改めて思い出しました。そこから、少しずつ…本当に少しずつ、皆さんや卒業していった先輩たちの力で、学校は昔の姿を取り戻すことになります。しかし、一度途切れてしまった行事をもう一度復活をさせることは、それはそれは大変なことでした。

皆さんの学年は、その手本となるものも十分でない中、この学校の中堅として、そして今年度はリーガーとして、茅ヶ崎中学校の、ちょっと大げさかもしれませんが復興に力をつくしてくれました。おかげで、茅ヶ崎中学校はこんにち、あのような大変な時期があったなどとは全く感じさせないくらい、以前の姿を取り戻しています。

皆さんの努力に心からの敬意を払います。

みなさんの入学式の日、私は、これから中学校生活を始める皆さんに対し、水泳の池江選手が当時、白血病から立ち直って頑張る姿を例に挙げて「努力」というものについてのお話をしました。その中で努力というものの本質について、「努力をしても報われない…つまり結果につながらないかもしれない、でも努力をしなかったら絶対に報われない」といったお話をしました。さあ、3年間を振り返ってどうだったでしょうか。私が一つだけ自信をもって言えることは、皆、間違いなくこの3年間に多くの努力を重ねていたという事実です。今日は、卒業に際し、入学式の時に話したこの文章の一つ付け加えたいと思います。それは・・・「そして、どんな結果であろうとも、その努力はあなた自身の中では必ず報われている」という一文です。3年間に力を尽くしたことは、すべてあなたの『人生の引き出し』の一つとして、必ず自信に、そして力になるということを伝えたいのです。その引き出しはどのようにあなたの人生の力になるかということをお話しします。

最近では学校でも ICT を使い学習を進めていくことが普通になりました。皆さんも上手に使いこなしながら学びを進めてきました。インターネットを利用し、多くの情報を瞬時に手に入れています。皆さんに限らず世界中の若者がそのように多くの情報を得て、さまざまな発信をしています。

それを見ていると、ひとりひとりがさまざまな意見を持ち、たくさんの人と共有できる現代社会は素晴らしいなあと思います。一方で、それらを読んでも、きわめて限定的な情報ですべてを判断し、さもそれが真理であるかの様な物言いをしている人たちをたくさん見ます。そういった人に限って、自分とは異なる意見や発言に、全く聞く耳をもっていません。人を傷つける発言ですらなんとも思っていないようです。そして、うまくいかなかったことを他人のせいにしていきます。本当の意味で、多くの情報を整理し、正しい結論を導くためには、たくさん経験、つまり人生の引き出しが必要です。それをもっている人こそ、真理を導くことができます。

コインを投げて表の出る確率と、裏の出る確率は、どちらが高いのか。どちらも一緒、1対1は誰もが知るところです。ですが結論がわからないとして実験を行うとします。2回投げたら両方とも表でした。表の出る確率は100%だと、このわずかの経験で言い切ることに、これが誤りであることを誰もが知っています。この実験、回数を増やせば増やすほど結果は1対1に近づいていきます。情報判断も同様、人生の引き出しが多い人ほど真実に近づけるのではないのかと思っています。

これからも多くの経験をつみ、正しい判断のできる人になってほしいと願っています。人の話を謙虚に聞いてください。人の考えもまたあなたの人生の引き出しです。そして、その判断の根底には、学校教育目標であった「夢」「愛」「平和」の精神が流れていたらこんなにうれしいことはないと思っています。

保護者の皆様、卒業生は、義務教育の9年間で、多くを学び、立派に成長しました。引き続き、最も身近での理解者としてどうかよろしく願いいたします。本日はお子様のご卒業、まことにめでたうございます。

皆さんが自らの力で、そして笑顔で活躍する未来を信じています。
卒業おめでとう！お元気で！



2/28(水) 花プロ表彰式

PTAのOBやPTAボランティアの皆さんと共に平成24年度から活動をはじめ、平成25年度から正式に「花いっぱいプロジェクト」として、生徒が日々前向きな気持ちで学校生活を送れるよう年間を通じて本校の花壇を整えてくださっています。学校を花でいっぱいにし、華やかで明るくほっとできる場所づくりを目指し活動してきた長年の功労を讃え、この度横浜市教育委員会北部学校教育事務所長より表彰されました。



3/8(金) 茅ヶ崎地下道壁画 「輝く虹の空」完成式

昨年12月より、学校地域コーディネーターの皆さまが企画して壁画のアイデアを募集し、小学生の画をもとにデザイン画を作成、茅ヶ崎中学校美術部生徒、並びに茅ヶ崎中ブロック3小学校児童の皆さんや保護者・おやじの会の方々が一緒に取り組んで来ました。令和5年7月からペンキ塗りを始め、8か月をかけてついに完成しました！完成式には自治会長の皆さまも参加され、応募されたデザイン画も飾られました。



2/20(火) 第35回 読書感想画コンクール 表彰式

物語を読んでその印象を描き、感想文とは違う表現方法で自分の心に残った「読書感想」を描きました。応募した作品の内、8名の生徒が横浜地区審査で入賞し、優秀賞以上を受賞した6名の内4名が表彰式に出席しました。「時の花」と題した2年生の藤崎紗奈さんの作品は、毎日新聞社支局長賞を受賞し、全国審査へ出品されます。応募した10作品は本校の図書館内及び図書館前に掲示されています。



「すぐーる」登録のお願い

令和6年度より、横浜市立学校に在籍する児童生徒の保護者の皆様と学校との連絡に使用する新たな連絡ツール(名称:『すぐーる』)が導入されます。本校におきましても2月末に1、2年生の保護者の皆様にご案内をお渡ししました。学校の重要な連絡を確実にお届けするため、保護者の皆様全員にご登録いただき、運用することを目指しております。スムーズな運用開始に向け、ご登録くださいますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

3年生につきましては、3月末日まで、現在のeメッセージを利用しますので、ご承知ください。

今後の主な予定

- 3/18(月) 1年・2年 百人一首大会
- 21(木) 大掃除
- 22(金) 1年・2年 学年集会
- 25(月) 修了式
- 3/26(火)～4/7(日) 学年末休業
- 4/ 8(月) 着任式・始業式、入学式